

塩尻市日本語学級の現状と課題

塩尻市教育委員会教育総務課 主事 小松久美

1. 現状

塩尻市教育委員会では、市内の小中学校に在籍している外国籍児童生徒に、学習及び生活面の指導、相談を通して日本語を指導することにより学校生活の適応を図ることを目的として、平成10年度から市内小学校（現在は桔梗小学校）に「塩尻市日本語学級」を設置しています。

通級対象は、外国籍児童生徒の通学する小中学校の学校長が特に日本語指導を必要と認めた方及び通級することが可能な方です。当初は外国籍住民の数も多く、通級する児童生徒も多数で中国語とポルトガル語の2つのクラスを開講していましたが、現在ではポルトガル語教室のみになっており、通級者は9名です。

開設曜日及び開設時間は、基本的に毎週月曜日と木曜日の午後3時から5時までです。

指導は日本語学級担当教員と外部講師の2名で個々に応じた指導を行っております。内容は授業内容の補習や宿題が主ですが、その他教材を使うこともあります。

送迎については、スクールバスの空き時間を利用して行っています。帰りはそれぞれの家の近くまで送っていきます。

2. 課題

①受入態勢

現在ポルトガル語教室のみの開設ですが、実際に通級してきている児童の約半数はフィリピン国籍です。指導は日本語学級担当教員と外部講師の2名で行っていますが、学年もレベルもそれぞれの児童生徒の指導を2人で行うのは、現在の9名程度が限界かと思えます。

さらに今後、入学や転入等で様々な国籍の児童生徒が通うことになった場合、講師の手配が必要になることも考えられます。（どの国籍の児童生徒がどのくらい来ることになるかが直前にならないと分からない。）

②バス送迎

前述のとおり、現在はスクールバスの空き時間を利用して日本語学級まで児童生徒を送迎しています。今のところ支障の無いルートで回っているので問題ありませんが、今後遠方から通級をする児童生徒が出てきた場合、対応しきれなくなってくる可能性があります。（過去に保護者の方に送迎をお願いした事例があります。）

③その他（予算関係）

講師にかかる経費（謝礼等）やバスの経費については必要最低限の予算で事業を行っているため、①②のような課題がなかなか解決できない状況にあります。市民ボランティアによる「楽しい日本語講座」という教室もあるので、場合によりそちらを案内することもあります。